

(別添 2 - 2)

年 月 日現在

シラバス

指定番号 _____

商号又は名称: _____

科目番号・科目名	()			
指導目標				
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①				
②				
③				
④				
⑤				
(合計時間数)				

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

記載例／ 実習を実施する場合又は視聴覚教材を活用する場合

(別添2-2)

令和3年7月1日現在

シラバス

指定番号 19

商号又は名称：株式会社大阪商事

科目番号・科目名	(1) 職務の理解		
指導目標	① ○○○○ ② ○○○○		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数
① 多様なサービスと理解	2.5	2.5	
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3.5	3.5	
(合計時間数)	6	6	0

「居宅介護職員初任者研修課程における目標、評価の指針」(別紙2)やテキスト等を参考に指導計画を作成すること。
別紙に記載しても可。

<演習実施方法>
演習手法：「介護職の仕事の内容」について、班体制を用いてグループディスカッションを行う。

<講義内容>
講師による講義の他、視聴覚教材を活用し、理解を深める。

OR

<実習>
・実習プログラム内容
・プログラムの特色
・指導体制

実習に代わり、介護の現場や仕事ぶり等を紹介したDVD等の視聴覚教材を活用して理解を深めてもらう方法も可能。ただし、視聴覚教材のみを視聴するだけの授業は認められないので注意すること。

実習を実施する場合は、実習実施内容を記載すること。
実習を組み入れることができる科目は、「(1)職務の理解」及び「(10)振り返り」のみであるので注意すること。
また、当該科目は、項目のすべてを実習に充てることも構わない。

使用する機器・備品等	(株)○○出版発行 DVD教材
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。また、通信時間数は、別添3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

記載例／ 通信学習の場合

(別添 2 - 2)

令和 3 年 7 月 1 日現在

シラバス

指定番号 19

商号又は名称：株式会社大阪商事

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援職務の理解			
指導目標	① ○○○○ ② ○○○○ ③ ○○○○			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	3	1	2	<通信学習課題の内容> ○○○○ <講義内容> ○○○○ ○○○○ <演習実施方法> ○○○○
② 自立に向けた介護	4	1	3	<通信学習課題の内容> ○○○○ <講義内容> ○○○○ ○○○○ <演習実施方法> ○○○○
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		<講義内容> ○○○○ ○○○○
(合計時間数)	9	4	5	

「別紙 3 通信形式で実施できる科目ごとの上限時間と各科目の総時間」を基に、通信学習時間の上限を超えないよう注意すること。

「人権啓発に係る基礎知識」は、通信学習で実施できないので注意すること。

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。